

研究実施のお知らせ

2020年12月18日 ver.1.0

2020年12月25日 ver.1.1

2021年6月3日 ver.2.0

2022年1月13日 ver.3.0

2022年1月20日 ver.3.1

2022年6月15日 ver.4.0

2022年8月25日 ver.4.1

研究課題名

質量分析（LC-MS/MS）を使用した D および L-β-aminoisobutyric acid (D, L-BAIBA)の定量化と生活習慣病リスクの関連性に関する観察研究

研究の対象となる方

2006年から2020年間に島根大学の実施する生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究の健康調査を受診し、研究へのデータの利用について同意が得られている方で採尿、採血を実施した方

研究の目的・意義

本研究は、筋肉から分泌される物質（筋肉ホルモン）である“D-BAIBA”および“L-BAIBA”と生活習慣病リスクとの関連性を明らかにすることを目的とする。本研究目的が明らかとなることで生活習慣病リスクの評価指標として、生活習慣病の予知予防への貢献が期待できる。

研究の方法

生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究で得られた調査結果および DNA・血液・尿サンプルを用いて、筋肉ホルモン“D-BAIBA”および“L-BAIBA”を測定し、生活習慣病リスクとの関連性について明らかにします。

本研究は、島根大学医学部医学研究倫理委員会の承認を受け、文部科学省及び厚生労働省が制定した「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って、データを利用します。そのため、本研究について口頭による説明・同意等、インフォームドコンセントの手続きは省略いたします。個人情報取り扱いに関しては、生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究で既に氏名が削除されたデータを用いて、島根大学人間科学部の山崎研究室（人間科学部棟 278・生化学実験室・医学部

環境保健医学講座実験室)内のパソコンで使用します。

血液・尿サンプルおよびデータは、研究結果を公表してから少なくとも5年間保管し、その後個人が特定されないように氏名を削除した状態で完全に破棄し、光ディスクは、切断、粉碎するなど物理的に破壊します。

研究の期間

2021年3月3日～2024年3月31日

研究組織

この研究は島根大学研究・学術情報機構地域包括ケア教育研究センターが行います。

研究責任者（研究で利用する試料（検体）・情報の管理責任者）：

島根大学研究・学術情報機構地域包括ケア教育研究センター 山崎 雅之

研究分担者・所属 [試料測定、データ解析担当者]

並河 徹 島根大学看護学科

小林 弘典 島根大学医学部附属病院臨床検査部

野津 吉友 島根大学医学部附属病院臨床検査部

外山 雄大 島根大学医学部内科学講座第一

情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年12月末までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学研究・学術情報機構地域包括ケア教育研究センター 山崎 雅之

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話/FAX 0852-32-9058